

H14 第35回県民文化祭参加
8ミリ・ビデオ映像祭プログラム

開会のことば 和歌山映像クラブ 会長 前田 幸男

1. YOU IN 白浜 遊・友・湯 15分 和歌山 関 久
紀州白浜は昔からの名湯の地として有名ですが、なかなかどうして、それだけではありません。遊んでよし、訪ねてよし、見てよしの所も沢山あります。一緒に遊んでみませんか。
2. 赤沢自然休養林 12分55秒 和歌山 中嶋 孝
中央線沿線の上松町にある“赤沢美林”は日本三大美林の一つとして、また 森林浴の発祥の地として知られています。都会の喧騒を離れて健康的な一日を過ごすことの出来る貴重なオアシスと感じました。少し遠いかなとは思いますが、行ってみたい気分になって戴ければ…。
3. きそ おんたけ 15分 和歌山 小野 誠之
御嶽山は信仰の山。“六根清浄”の響く中、白装束の信者とカラフルな一般登山者が混在する登山風景。変わりやすい山の気象にも拘らず、思わず手を合わせる荘厳な日の出「ご来光」を拝することが出来たのは、全くラッキーとしか申しようがありません。
4. さようなら 南海水軒線 12分 和歌山 奥野 敏之
南海電鉄・和歌山港駅の延長線として、かつての海水浴場だった水軒までのびていた路線。一日2便しかなかった「日本一旅客列車の少ない終着駅」として、鉄道ファンに親しまれていた和歌山港～水軒線が2002年5月25日廃止されました。
影が薄かったこの路線の設置の事情から、追ってみました。
5. 熊野古道かいなん 14分40秒 和歌山 菱田 公造
―五つの王子跡めぐり―
列をなしての“熊野三山詣で”は、その有様から“蟻の熊野詣で”と呼ばれました。その道中には貴族たちの休息所ともいべき王子が九十九か所設けられ、その内の五つの王子跡が海南市内で確認されています。
ご一緒に古人が行き交った昔に思いをはせながら古道を巡ってみませんか。

休 憩

和歌山県アマチュア映像連盟
平成14年度 第32回映像コンクール表彰式
〈ごあいさつ〉 会長 松山 健

6. 紀伊風土記の丘 14分30秒 和歌山 岡崎 譲
和歌山市民が格好の散策の場としてよく訪れている紀伊風土記の丘も、じっくり見ると新しい発見があるものですね。移設された200～250年前の住居のたたずまい……先祖の生活がしのべれます。詩情たっぷりに紹介してまいります。
7. 紙遊苑 ―和紙漉き体験― 10分 和歌山 前田 幸男
伊都郡九度山町にある「紙遊苑」で紙漉きの体験学習をして、今までのあやふやだった紙漉きの知識が大分確かなものになりました。
紙を漉くのは横で見るほど簡単ではありません。私のドジぶりをご覧になりながら、仮想体験は如何ですか。昔の教え子・大橋和子さんの出演協力で完成に漕ぎ着けました。
8. 富士・箱根の旅 13分50秒 和歌山 南川 陽一
関西・関東在住のいところが年一回集まることにしています。この年は富士箱根コースでした。富士の山に魅せられ、しかもカンツォーネを聴きながら食事が出来るなんて、思っても見なかったことでした。
9. 有吉佐和子特別展 19分 和歌山 塩崎 博
「紀ノ川」「華岡青州の妻」など和歌山県ゆかりの作品を多く残している和歌山市出身の有名作家、有吉佐和子氏の特別展が和歌浦の県公館で開催されました。氏にゆかりのある方々やファンの人々が大勢観覧されましたが、機会を逃した方々はこの折にその業績をしのび、ご覧になった方はもう一度振り返って見られては……特別展の中身も紹介されてます。

都合により上映作品が変更になる場合もあります。その節はよろしく
ご了承下さい。

☆☆☆ 8ミリ・ビデオ映像祭「プログラム」☆☆☆

◇ 開会挨拶 和歌山映像クラブ 会長 前田 幸男

1. ぐるっと徳島・海峡と渓谷 12分30秒 前田 幸男

土讃本線で「祖谷渓谷」を通ったのはもう何年も前のことです。今回は旅行仲間とバスで、鳴門大橋を經由し、大歩危・小歩危の渓谷も、また有名な「かずら橋」も渡りながら撮影して来ました。海峡ひとつ隔てただけの隣県ですが、初めての体験がいくつもあって楽しい2日間でした。

2. ある廃線 10分 奥野 敏之

昨年の末、あの「有田鉄道」が廃線になってしまい、鉄道ファンを自負する私にとっては誠に寂しいかぎりでした。でも、同様廃線となった中で、私の知っているこの線（他府県）の場合は今こんな様相を呈しています。そこのところを描いてみたくて作品にしました。

3. 秋の火打山・妙高山縦走 14分 南川 陽一

秋の静かな山を楽しんできました。平成14年10月初め、台風一過の澄んだ青空の下、紅葉の美しい北アルプス火打・妙高縦走の時の作品ですが、お楽しみいただけるでしょうか。

4. 光川亭仙馬の足跡を訪ねて 12分 鈴木 荘

《本年度県コンクール・県視聴覚教育連絡協議会会長賞・受賞》

紀州藩10代藩主徳川治宝が、殖産興業の一環として起こした「南紀男山焼窯」、この窯を支え、紀州が生んだ無名で悲運の陶工「光川亭仙馬」を多くの人に知っていただきたく挑戦してみました。

5. シベリア抑留の軌跡 13分50秒 中嶋 孝

《本年度県コンクール・県視聴覚教育連絡協議会会長賞・受賞》

私は太平洋戦争が終わった後、旧満州（今の中国東北部）でソ連軍に捕らえられ、貨車に乗せられたままウラル山脈を越え、36日かけて「マルシャンスク」（モスクワの南方300キロ）の収容所へ送られました。それから2年2か月間強制労働に従事したのですが、この度引き揚げ後56年を経て、「舞鶴引揚記念館」を訪ねることになりました。その時の感懐を若い世代の人たちにもお伝えしたくて制作を志した次第です。

~~~~~ 《休憩》 ~~~~~

◇ 第33回県アマチュア映像コンクール「表彰式」

◇ 来賓祝辞

◇ 県連盟会長挨拶

## 6. かくばん祭 14分 岡崎 譲

《本年度県コンクール・県知事賞・受賞》

毎年11月下旬、根来寺で行われる「かくばん祭」。この寺の創建者「覚鑿上人」にちなんだお祭りで、この頃の根来寺は紅葉の一番美しい時期にあたります。この作品には二人の女性が登場しますが、私の家内とその妹で、二人とも比較的カメラ馴れしていたので助かりました。

## 7. 印南町・川又観音 7分 菱田 公造

クラブの撮影会を企画する役目を担当している私は、毎年その季節になるといろいろ頭をいためます。今年の春は特に雨の日が多く、いっそう悩ませられました。この映像は思案の挙句、石楠花で名の知られている「川又観音」を思いつき、自分で下見に出かけた時のものです。結局撮影会も悪天候で見送りになったのですが、今後の参考になればと思い、編集してみました。

## 8. 小豆島紀行 11分50秒 岡本 至弘

《本年度県コンクール・県議会議長賞・受賞》（ビデオサークル紀南・会員）  
特にお許しを得て、盟友クラブの代表作品として上映させていただきます。

風かおる初夏の候に、瀬戸内海に浮かぶこの島を訪れ、作者ならではの腕前をふるわれたこの作品は、ご覧になる皆様にも、アマチュア映像を志す人にも是非鑑賞していただきたいものと思います。（編者識）

## 9. 山びこの詩 15分 田中 美延

この作品は、8ミリフィルム作品です。清水町の山奥のある小学校が廃校になると聞いて、これは是非カメラに入れて残して置きたいと思立ち、入学式の日からまる一年間通い続けて撮影しました。時間がなくて編集し終わったのは更に数年後でしたが、その甲斐あって関係者から喜ばれたのは良い思い出になりました。

~~~~~  
◇ 都合により上映作品が一部変更になる場合があります。その節はよろしく御了承ください。



8ミリ・ビデオ大映像祭「プログラム」



テーマ「和歌山の映像」

1. さとがえり 9分 高塚 修

昭和51年2月の和歌山8ミリクラブ撮影会の作品です。雑賀崎の旧正月風景をエキストラを使って「さとがえり」と言う題名のもと、大漁旗に飾られた漁船が並ぶのどかな漁港風景をまとめたものです。当時の様子をご覧ください。

2. 30年目のふるさと 11分 共同作品

さきの太平洋戦争で終戦を知らずにルバング島で頑張り続けた小野田元陸軍少尉が昭和49年春、戦後30年目に救出されました。郷土に帰る小野田さんを新大阪から両親の待つ故郷海南まで和歌山シネクラブ（現在の和歌山映像クラブ）と海南8ミリ同好会の会員が随所にカメラを配置し、県庁・市役所等への、挨拶、日の丸の旗を振っての歓迎の様子を撮影したものです。

3. 高野山 青葉祭 12分 南川 陽一

新緑の6月、高野山では弘法大師のご誕生をお祝いする青葉祭があります。高野山全山を挙げたお祭りです。和歌山に居ながら高野山のこのようなお祭りは初めてでした。今回は宿坊に泊めて頂きましたのでお祭りだけでなく早朝の山々や、歴史的な重みのある町並みも見せていただきました。

4. さよなら市電 12分 吉方 徳一

昭和46年3月31日、明治、大正、昭和の三代、60余年に亘って市民の足として親しまれてきた「市電」が車社会、交通体形と道路整備と言う事で廃止される事になりました。私は和歌山に電車が走っていた記録として撮影を始めました。最後の日は雨となり、走り去る電車に一抹の淋しさを感じました。

5. 雲雀山・得生寺 15分 塩崎 博

能や浄瑠璃で知られる有田市糸我の中将姫ゆかりの「得生寺」では、姫が25菩薩に迎えられて大往生を遂げたと言う故事にちなんだ県無形文化財指定の行事が5月14日に行われます。この作品は姫が修業を積んだ雲雀山史跡と寺が所蔵の宝物など織り込んで縁起と行事を紹介しています。通りすがりでは観る事が出来ない所まで撮影されている作品の一つであります。

6. 加太春日神社のゑびまつり 13分 中嶋 孝

和歌山市加太にある加太春日神社では、5月に大漁を祈願する「ゑびまつり」が行われます。住民約600人が参加する町ぐるみのお祭りで、ミニ和歌祭とも呼ぶべきものですが余り知られていませんので、皆様にお知らせしたくて製作しました。

7. 菊日記 15分 田中 美延

菊を作っている方が近くだったので何度となく行って菊の成長の様子や作業のありかたを1年余りかけて撮影してきました。土作り、芽の差しかた、肥料の与えかた、植え換え、毎日の水やり。大きな花を咲かせる楽しみで気が抜けない作業の連続でした。台風が来たらこの沢山の鉢をどのようにして守るのか、その様子を撮りたかったが台風が来なかったので撮れませんでした。

8. 興国寺の盆供養 15分 岡崎 譲

1999年8月15日に行われた由良興国寺の灯籠焼きの記録です。当日朝10時頃より最終の夜中の12時まで頑張ったのも今からすれば懐かしい思い出です。私達のごく近くに、こんな素晴らしい行事があることにも驚きでした。先祖の供養とはいえ、あの立派な灯籠が、一夜にして灰になってしまうのを見て何にか惜しいような気持ちになりました。

9. 野上電鉄 10分 菱田 公造

野上電鉄が平成6年3月31日、地域住民に惜しまれながら廃線になって早くも10年。線路跡は自転車道やジョギングロードに整備され市民に親しまれています。幼い頃、祖父母の元へ遊びに行くのによく利用した私にとってはいつまでも脳裏に残しておきたく「のちの想ひに」として廃線当日の最終電車とその後の日方駅舎をビデオ編集しました。

10. とどろけ黒潮 21分 共同作品

昭和46年、黒潮おどるここ紀州路に「明るく、豊かに、たくましく」のスローガンのもと第26回黒潮国体秋季大会が展開され、和歌山シネクラブの会員が手分けしてその記録を撮影しました共同作品です。聖火リレーから大会開会式、大会の熱戦、天皇杯を獲得して終わった6日間。今見れば当時の感激が思い出されます。この作品はプロ作品よりも優秀であると当時より伝えてきて居ります。

(注) ○上映作品、1, 2, 4, 7, 10は8ミリフィルム作品でビデオに変換したものです。
○2. 「30年目のふるさと」10. 「とどろけ黒潮」は時間の都合で短縮ダイジェスト版にさせていただきました。



開会のことば 和歌山映像クラブ 会長 小野 誠之

■■■■■■■■■■ 休憩 ■■■■■■■■■■

1. かくばん祭 (遺作) 14分 岡崎 譲

《平成 15 年度県コンクール・県知事賞・受賞》

此の作品は岡崎さんの遺作で、平成 14 年 11 月下旬、根来寺で行われた「かくばん祭」を撮影したものです。「かくばん祭」は根来寺の創建者「覚鑿上人」にちなんだお祭りです。この頃の根来寺は紅葉の一番美しい時期にあたります。

2. 第 2 回紀州よさこい祭「おどるんや」 14分25秒 宮原 昌弘

第 2 回紀州よさこい祭りが 7 月 23 ~ 24 日、市内 6 会場で行われました。猛暑の中撮影して来ました。紀州よさこい祭りは活力ある和歌山の街づくりや人づくりを目的としたもので、街中が活気に溢れる祭の様子を少しでも表現出来たらと思ひ撮影しました。

3. 茅葺の薬師堂 6分 菱田 公造

田舎道のドライブが好きな私は、ある日、清水町をドライブ中、茅葺屋根の小さな家が目にとまりました。後日調べてみるとそれは約 570 年前有田川沿いに建立された薬師堂でした。季節は春で色々な花の咲く頃でした。花と茅葺の薬師堂を対比させながら撮影し、この作品に仕上げました。少しの間、皆様それぞれの田舎を思い出して癒しの時をお過してください。

4. 函館へ旅する貴女に 11分30秒 前田 幸男

拝啓。函館へのお発の日も近づきましたね。私が行ったのも丁度同じ五月でしたから、何かの参考になればと思ひ、つたない出来ですがビデオをお届けします。他にも「石川啄木一族の墓」「恵山ドライブ」などありますが、またの機会に。では楽しい旅であることを祈ります。同行される日さんにも宜しくお伝えください。お帰りになったら土産話を楽しみにしています。

5. 立山三山 15分 小野 誠之

これは 8 ミリフィルムの作品です。私達のグループ、山歩きを楽しむ中高年層の 46 名は 7 月 28 日~29 日、北アルプスの立山三山に登って来ました。幸いお天気良く、お花畑には多くの可愛い花が咲いていました。よちよち歩きの子供にも出会い、又、雪渓の雪の感触も楽しめました。別山で目の前に見える急峻な岩峰。劔岳の全貌はガスがかかって見る事が出来ず残念でしたが楽しい夏山登山でした。

6. 黒江の町 8分 南川 陽一

《平成 16 年度県連盟親睦撮影会コンクール NHK 杯・金賞・受賞》

黒江の町並みは一度撮って見たいところでした。和歌山市内とは違い戦災に遭っていない懐かしい町並みを期待していたからです。しかし現実には町はどんどん変わっています。そこに住んでいる方々にとって古い町並み保存は大変な事でしょうが、歴史を感じる町並みが日に日に消えて、駐車場や新しい住いに変わっていく現実はやはり残念に思いました。

7. 野鳥の楽園・ケアンズ (ダイジェスト版) 17分 岩崎 好宏

平成 16 年 11 月、野鳥に興味を持ってまだ僅かでしたが、友人と野鳥撮影ツアーに参加しました。オーストラリアの北東部に位置するケアンズは、市街地でも多くの野鳥を見ることができます。数年前から望遠鏡にデジカメを付けて野鳥を撮影するデジスコが人気になってきました。この作品はデジカメの代わりにビデオカメラを取り付けて野鳥を撮影した記録のダイジェスト版です。

8. 熊野古道 中辺路~熊野本宮大社 11分 武田 雅治

私は当会に入会してまだ 2 年足らずですが、会員の皆様の立派な作品に刺激されて、一生懸命作品作りに取り組んでいます。此の作品は去年 7 月に世界遺産に登録された熊野古道のうち、中辺路から熊野本宮大社までのルートを駆け足ですが撮影したのでビデオ作品にしてみました。改めて県内の文化遺産の素晴らしさに気がついた次第です。

9. 湯浅・歴史の散歩道 11分50秒 中嶋 孝

熊野古道が通る湯浅の町は、本場の熊野から離れているので世界遺産ブームの穴場の存在です。町を歩くと醤油の匂いとともに歴史の香りが漂い、人々の人情ともてなしの心が肌感じられます。そんなあたたかい町、湯浅を紹介させていただきます。

◇ 都合により上映作品が一部変更になる場合があります。その節はよろしく御了承ください。

H18

H.18

8ミリ・ビデオ映像祭「プログラム」

18.10.8

開会のことば 和歌山映像クラブ 会長 小野 誠之

1. 魂への響き 12分20秒 宮原 昌弘

この映像は熊野・高野が世界遺産に登録された記念の一環事業として、和歌山城周辺で行われたイベントを撮影したものです。和歌山城のライトアップと尺八の音色による幻想的な映像と勇壮な鬼太鼓座の演技を組合せ、一味違った夜の和歌山城を表現してみました。

2. ジャワ島 復興なるか? 14分20秒 前田 幸男

今年5月27日早朝、「ジャワ島」を激しい地震が襲いました。その途端、私はこの古いビデオを誰かに見てもらいたいと強く思うようになりました。このビデオは、私が平成2年(1990)、「ジャワ島」「バリ島」を観光旅行した時撮影したもので、当時はカメラも古い型のものであったし撮影の技術も未熟だったのだが、それでも妙に見捨て難い思いから被災された方々への供養にもと編集しなおしました。

一週間後、世界遺産「ボロブドール」は直接の被害を免れたと新聞で見てもホットしたが、その後もなお地震・津波が続き、住民を苦しめているようで、ひたすら「ジャワ島」の復興を祈るばかりです。

3. 和歌の浦 12分 小野 誠之

平成元年、静かな暖かいお正月でした。ふらりと和歌の浦へ行った時の映像です。当時はあしべ橋もアートキューブもありません。今は和歌浦の海苔もとれなくなり、海苔養殖のひびもありません。干潟にはシオマネギなどの小さな生きものがたくさん住んでいましたが、現在少なくなって来ています。自然を大切にしたいものです。今日も何事もなく穏やかな一日が静かに暮れて行きました。(テレシネ作品)

4. 山びこの詩(遺作) 15分 田中 美延

この作品は田中さんの遺作です。清水町の山奥のある小学校が廃校になると聞いて、是非残して置きたいと思い立ち、入学式の日から一年間通い続け撮影しました。編集し終ったのは数年後でしたが、その甲斐あって関係者から喜ばれたのは良い思い出になりました。(テレシネ作品)

5. 光るキノコ 6分 松村 庭華

最初、神戸の山中で光るキノコをみたのを機にカメラで光るキノコをおい続けて4年になります。今年はビデオカメラで挑戦しました。暗闇の中に光るキノコはととても神秘的です。それが少しでも表現できれば、との思いで撮影に出かけました。場所は周参見です。

6. 春らんまん 5分15秒 岩崎 好宏

平成18年4月、和歌山城の桜が満開になり、野鳥も多く見られるようになりました。その撮影のために、ハイビジョンカメラに望遠鏡を取り付けました。それで花を写してみたところ、バックがぼけて遠近感が出て普通の撮影とはひと味違うきれいな画面になりました。それに感激して作品にまとめてみました。

■■■■■■■■■■ 休憩 ■■■■■■■■■■

7. 木の本獅子舞 14分 塩崎 博

平成17年11月23日、和歌山城二の丸広場で伝統芸能の競演が行われました。その中のひとつ、地元「木本八幡宮」に奉納されている日本でも一、二を争う勇壮活発な「木の本の獅子舞」を撮影・編集しました。(和歌山8ミリ・ビデオサークルからの参加作品)

8. 水上に映える花火 4分 八木 博

淀川で行われた花火大会です。水面に映るファンタジーを求めてコンピュータ制御で打ち上げる一万発を一台の手持ちカメラで撮影しました。楽しそうな顔も写ってます。納涼気分で見てください。

9. 粉河まつり 11分 中嶋 孝

紀州三大祭りの一つに数えられる「粉河まつり」は山車だんじりが中心で、若者が主体の祭りです。祭りのために故郷へ帰って来た若者を加えて、全員力を合わせて山車の運行に取り組み、伝統を守る姿をご紹介します。

10. 下津・長保寺 10分 菱田 公造

秋も終わりの11月末の休日。下津町の長保寺です。春の桜や秋の紅葉もいけれど、秋の終わりの夕暮れの侘しい景色も私の好きな撮影対象のひとつです。

この日私は山里の古刹、長保寺境内で秋の夕暮れの侘しさをいっぱい感じながらビデオ撮影のひとつときを過ごすことが出来ました。

11. 廃線跡幻影 8分20秒 南川 陽一

《平成17年度 年度賞コンクール 生馬賞受賞作品》

福知山線の生瀬から武田尾の間に廃線跡があります。ここには当時の見張り台や、退避所、枕木、照明のない真っ暗なトンネルが残っています。トンネルに入ると私は不思議な感覚に襲われます。真っ暗なトンネルの向うには異次元の世界があるように思います。廃線の橋脚に刻印されていた「1959」と言う数字から、私は遠い学生時代を思い出しました。



日時:平成19年11月4日(日) 上映 13:30~16:00
 場所:メディア・アート・ホール (和歌山市高松 県立図書館2階)
 連絡先:和歌山映像クラブ事務局 南川 陽一
 TEL073-423-0390

主催:和歌山映像クラブ
 会長 小野 誠之
 和歌山県アマチュア映像連盟
 後援:和歌山文化協会

プログラム

開会の言葉 和歌山映像クラブ 会長 小野 誠之

休憩

1. オオハクチョウが来た 7:10 岩崎 好宏
 昨秋、紀の川市にオオハクチョウが始めて飛来して来ました。春になって北へ帰るまで観察し、望遠鏡にハイビジョンカメラを取り付けて撮影しました。これはその記録をまとめた作品で、月刊雑誌「ビデオ SALON」に投稿して「Excellent 賞」に輝きました。
2. 我輩は又兵衛桜でござる 5:00 中口 清治
 NHKの大河ドラマ「葵・徳川三代」のオープニング画面に使われ一躍有名になった見事な桜と聞き撮影してきました。大坂夏の陣で活躍した武将「後藤又兵衛」の風格を思わせる立派な桜の雄姿に感動しました。
3. さよなら野上電気鉄道 14:25 宮原 昌弘
 今から13年前、野上電気鉄道が廃線になりました。映像で当時を懐かしく思い出していただければ幸いです。
4. 四国遍路 涅槃の道場 8:25 的場 信治
 7月に四国遍路をした時に写して来ました。遍路には時間的に余裕がないのでデジカメのスナップショット感覚で撮影しています。
5. 姫路城 10:05 武田 雅治
 私の映像活動の始まりがこの作品です。腕が未熟な時のものですがあえて発表させていただきます。姫路城は別名白鷺城の名の通りその美しさに魅せられて作った思い出深い処女作です。
6. イグアスの滝(テレシネ) 11:50 高塚 修
 昭和56年12月31日8mmフィルム・カメラでイグアスの滝を撮影してきました。イグアスの滝は南米ブラジルのサンパウロから約1時間の所、赤道直下にあります。陸上から滝しぶきを浴びながらの撮影とヘリコプターに乗って空から見えるダイナミックな滝を撮影しました。
 (テレシネ=8mmフィルムからビデオ変換したもの。)

7. 梅小路蒸気機関車館 13:40 中嶋 孝
 京都にある「梅小路蒸気機関車館」は、貴重な交通文化遺産である蒸気機関車を後世に伝えるために、日本の鉄道開業100周年を記念して、1972年(昭和47年)に開設された、わが国で唯一の蒸気機関車の博物館です。
8. 仁平寺ジャズコンサート 6:30 松村 庭華
 有田川沿いにあるアジサイで有名な仁平寺にふと立ち寄りしました。そこで出会ったのはジャズコンサートでした。寺とジャズ、一瞬ミスマッチングだと思いましたが良く聴いてみるとこれも又いいものでした。
9. 北アルプス 常念・燕縦走 14:45 南川 陽一
 安曇野から2,857mの常念岳がピラミッド形に美しく見えます。いつかこの山に、ここ安曇野側から登りたいと思っていましたところ、H19年の夏にようやくその念願が叶いました。常念岳への急な登りに体力が持つかどうか心配でしたが、どうにか登り切ることが出来て満足しています。常念岳から燕岳への縦走路は風が強く天気はあまり良くありませんでしたが、久しぶりに北アルプスを楽しんできました。
10. 松山・道後・・・「坊ちゃん」&「俳句王国」 12:50 前田 幸男
 《平成18年度 年度賞コンクール1位生馬賞授賞作品》
 夏目漱石の名作「坊ちゃん」発刊100周年記念という事を知って松山・道後への旅を思い立ちました。外にも松山は俳句の町として知られています。丁度NHK松山放送局から毎週土曜日に放送されている「俳句王国」という番組に親しんでいた矢先だったので、期待が膨らみました。

入場無料

駐車場僅少につき、ご来場はなるべく公共の乗り物でお越し下さい。

平成20年度

第41回 和歌山映像クラブ 8ミリ・ビデオ映像祭

日時:平成20年10月25日(土)

開場 13:00 上映 13:30~16:00

場所:メディア・アート・ホール(和歌山市高松 県立図書館2階)

主催:和歌山県アマチュア映像連盟

和歌山映像クラブ

後援:和歌山文化協会

プログラム

開会の言葉:和歌山映像クラブ

会長 小野 誠之

ご挨拶:和歌山県アマチュア映像連盟

会長 松山 健

- | | | | | | | | |
|---|--------|----|---------|--|--------|-----|--------|
| 1. ぼくはライダー
和歌山市園部の県自動車学校で「親子バイク教室」が開かれ、小三の孫も参加しました。自転車にしか乗れない子供達が、数時間の教習で50ccのバイクをスイスイ乗りこなすようになったのに驚くとともに、教え方の巧みさにも感心しました。 | 11分 | 標準 | 中嶋 孝 | 7. 第5回紀州よさこい祭おどるんや
第5回紀州よさこい祭りが8月16日~17日、猛暑の中市内7会場で行われました。今回はJR和歌山駅前・高松・けやき大通り・城内砂の丸の4会場で撮影です。街中が活気にあふれる祭りの様子を少しでも表現できたらと思い撮影しました。 | 8分55秒 | ワイド | 宮原 昌弘 |
| 2. 友ヶ島砲台跡を撮る
戦後60数年が過ぎた今も、忌まわしい戦争の記憶は忘れてはならないと思っています。この砲台跡を訪れた人々も先人の苦労や戦いのむなしさをこの友ヶ島砲台跡と共に後世に残して、語り継いでいかなければなりません。 | 8分 | 標準 | 菱田 公造 | 8. 和歌浦名所散策
小生87歳、寄る年波には勝てず体力の要るイベントでの撮影は止めて、比較的マイペースで撮れる自然の風景に取り組むこととしました。 | 7分50秒 | ワイド | 的場 信治 |
| 3. 紀州徳川家ゆかりの名刹 長保寺
《平成19年度 NHK杯映像連盟親睦撮影コンクール 銅賞授賞作品》
海南市下津町にある紀州徳川家にゆかりのある長保寺を春の桜、秋の紅葉のシーズンに訪ねました。春4月8日は御本尊の御御帳があり、又お釈迦様に甘茶を手向けて皆でお祝いします。 | 7分10秒 | 標準 | 武田 雅治 | 9. みさとチューリップまつり
開園10年目を迎えた「みさとチューリップ園」が、今年限りで閉園されるというので、私たち和歌山映像クラブの春の撮影会が行われました。初参加した私の作品です。 | 10分10秒 | ワイド | 中口 清治 |
| 4. お正月の雑賀崎(遺作)(テレシネ)
昭和51年2月、雑賀崎の旧正月の風景です。大漁旗に飾られた漁船が並ぶのどかな漁港風景で、当時の様子をご覧ください。 | 7分 | 標準 | 故 吉方 徳一 | 10. 奥の院 寒行
お大師様の遺徳を慕って各地に講という組織が出来ました。自らの行(おこない)に悩み、苦しみ、反省のある人が自分自身を痛めつけ全身で大師にすがり付く、自分自身を「空」にする行(ぎょう)であります。 | 5分30秒 | ワイド | 西本 喜多郎 |
| 5. 吉方家の「花しょうぶ物語」
先輩、吉方さんからは多くのものを学びました。この作品を作る間も度々高松のお宅を訪ねて教えを受けました。花しょうぶを一生懸命育てているこのテープを見て、在りし日の吉方さんを偲びたいと思います。 | 12分10秒 | 標準 | 前田 幸男 | 11. カワセミ
カワセミは空飛ぶ宝石といわれ、野鳥ファンだけでなく一般の人にも人気のある野鳥です。和歌山市内の公園で半年にわたって撮影した映像を編集しました。小さな鳥なので、望遠鏡にハイビジョンカメラを取り付けて撮影したものです。 | 5分20秒 | ワイド | 岩崎 好宏 |
| 6. 我が街(テレシネ)
静かで活気のない和歌山市ですが、それでもあちこちで街の様子が変わりつつあります。昭和63年頃から今まで撮影したいいくつかの街の映像を集めてみました。消えゆく街の文化を映像で少しでも残そうと思っています。 | 10分40秒 | 標準 | 小野 誠之 | 12. 青洲まつり
《平成19年度 NHK杯映像連盟親睦撮影コンクール 金賞授賞作品》
実りの秋の一日、華岡青洲の里名手周辺では「青洲まつり」が行われていました。先人の偉業をたたえ、実りの秋を感謝するこのような祭りは地域の人々の結束を再確認する大切なイベントです。いつまでも続けて欲しいと思いました。 | 11分30秒 | ワイド | 南川 陽一 |

休憩

(テレシネ=8mmフィルムからビデオ変換したものです。)

入場無料

連絡先:和歌山映像クラブ事務局 南川 陽一 TEL073-423-0390

駐車場僅少につき、ご来場はなるべく公共の乗り物でお越し下さい。

平成21年度 第42回 和歌山映像クラブ 8ミリ・ビデオ映像祭

日時:平成21年10月11日(日)

開場 13:00 上映 13:30~16:00

場所:メディア・アート・ホール(和歌山市高松 県立図書館2階)

主催:和歌山県アマチュア映像連盟

和歌山映像クラブ

後援:和歌山文化協会

入場無料

プログラム

開会の言葉:和歌山映像クラブ

会長

小野 誠之

ご挨拶:和歌山県アマチュア映像連盟

会長

松山 健

1. I Love 和歌山 4分50秒 HDV 松村 庭華
ある日偶然ブラクリ町で、すばらしいプロのストリート・ミュージシャンに出会いました。彼は和歌山を元気付けようと「I LOVE 和歌山」という歌を熱唱していました。私はそれに和歌山の素晴らしい四季の映像を重ねました。
2. 和歌浦名所散策Ⅱ 4分30秒 HDV 的場 信治
あしべ通りの側壁には万葉の歌に風景面を描いた和歌浦13景の陶板が埋め込まれています。このあしべ通り界限には歴史に残る名所が多々あります。今回は散策の折々に写したその1部を紹介させていただきます。
3. 天野の里 5分40秒 HDV 西本喜多郎
和歌山県紀北のかつらぎ町に天野の里があります。三世紀頃、応神天皇により天野に丹生都比売の神が祀られるように成りました。高野山との関わりもあり高野の開発に尽くした里であります。
4. 南海電鉄紀ノ川橋梁 9分50秒 HDV 中嶋 孝
南海電鉄の紀ノ川橋梁は、建設後一世紀を過ぎてもなお大阪と和歌山を結ぶ大動脈を支え続けています。明治・大正の面影を色濃く残すこの橋梁を、和歌山の新しい史蹟として紹介させていただきます。
5. 春の施無畏寺 6分30秒 HDV 中口 清治
明恵上人が開基したといわれる施無畏寺に行ってきました。すばらしい眺めと満開の桜、身に触れるあらゆるものを愛したという、明恵上人の願いが今に届いているのを感じた撮影でした。
6. 泣く子は育つ 7分20秒 HDV 岩崎 好宏
山路王子神社の秋祭りは、泣き相撲の祭りとして有名です。健やかな成長を祈願して幼児に赤いふんどしを締め相撲をさせます。行司役の小学生の素晴らしい口上と、日米国際児の登場で盛り上がりしました。

7. 牡丹の花 3分50秒 HDV 宮原 昌弘
和歌山城公園に今年も牡丹が咲きました。牡丹の豪華な花びらがハイビジョンの鮮明な画像で再現していると思います。美しい牡丹の花をお楽しみ下さい。
8. 萬燈會 6分10秒 HDV 菱田 公造
海南市鳥居地区の藤白山のふもとに安産祈願で知られている日限地藏尊浄土寺があります。この寺で家内安全、安産祈願、そして地域振興の願いを込めてボランティアの人たちの協力のもとにピンや空き缶を再利用した萬燈會が開催されました。この萬燈會は毎年開催される予定で今年も7月24日にたくさんの人々のお参りがありました。夜の帳が下りた境内に浮かぶ3000本のローソクの揺らぐ灯りをご覧になりながら、しばし癒しのひと時をお過ごしください。
9. 阿蘇くじゅう花公園 5分30秒 HDV 山口 隆
九重の大パノラマを背景に広がる花公園ではポピーが丁度満開でタイミングも良く、人の少ない早朝の公園をゆっくりと撮影し、ゆっくりと花を満喫しました。五月晴れの中、実に見事な「くじゅう花公園」を楽しむことが出来ました。
10. 旭岳・黒岳登山 15分 HDV 南川 陽一
《平成20年度 年度賞コンクール 金賞授賞作品》
学生時代の山仲間と北海道の最高峰、旭岳から黒岳へ縦走しました。この大雪山系の山は本州の山とは違った景観です。お花畑の点在する広々とした山並みは、しかし決して優しい山ではなく北海道特有の注意の要る山行でした。
11. 火と灯のまつり 8分10秒 HDV 武田 雅治
《平成20年度 県映像連盟主催NHK杯コンクール 金賞授賞作品》
由良町の興国寺で毎年お盆の8月15日に灯籠祭りが行われます。祭りの時間は夜の9時から11時過ぎまでで、殆ど照明もなく暗闇の中での撮影でしたので映像になるのかなど心配しながらの撮影でした。これは歴史のある祭りで、大変豪快な中に荘厳さを感じました。

休憩

【今回の作品は全てハイビジョンで上映いたします。】

連絡先:和歌山映像クラブ事務局 南川 陽一 TEL073-423-0390

駐車場僅少につき、ご来場はなるべく公共の乗り物でお越し下さい。